

# 入札公告

次のとおり一般競争入札に付します。

平成30年7月30日

国立研究開発法人水産研究・教育機構  
西海区水産研究所長 青野 英明

## 1. 調達内容

- (1) 調達件名及び数量 東シナ海における動物プランクトン標本の同定・計数・選別業務一式
- (2) 調達仕様 入札説明書による。
- (3) 履行期限 入札説明書による。
- (4) 履行場所 入札説明書による。
- (5) 入札方法 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の100分の8に相当する額を加算した金額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てた金額）をもって落札価格とするので、入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか、免税事業者であるかを問わず、見積もった契約希望金額の108分の100に相当する額を入札書に記載すること。

## 2. 競争参加資格

- (1) 国立研究開発法人水産研究・教育機構契約事務取扱規程（平成13年4月1日付け13水研第65号）第12条第1項及び第13条の規定に該当しない者であること。
- (2) 平成28・29・30年度国立研究開発法人水産研究・教育機構競争参加資格又は全省庁統一資格の「役務の提供等契約」の業種「調査・研究」で「C」又は「D」いずれかの等級に格付けされている者であること。
- (3) 国立研究開発法人水産研究・教育機構理事長から物品の製造契約、物品の販売契約及び役務等契約指名停止措置要領に基づき指名停止を受けている期間中でないこと。ただし、全省庁統一資格に格付けされている場合は、国の機関の同様の指名停止措置要領に基づき指名停止を受けている期間中でないこと。
- (4) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第32条第1項各号に掲げる者でないこと。
- (5) 本業務を履行しうる知識、技術を有することを証明した者であること。
- (6) 仕様書を踏まえた実施体制を整備すると共に、第三者に委託することなく業務責任者（査定結果の最終判定を行える者）を有していることを証明した者であること。

## 3. 入札説明書等の交付方法

- 競争参加希望者は、以下により入札説明書等（入札説明書、入札心得書、契約書案、入札書様式、委任状様式等）の交付を受けること。
- ① 直接交付  
長崎県長崎市多良町1551-8  
国立研究開発法人水産研究・教育機構  
西海区水産研究所  
業務推進部業務管理課用度係  
電話 095-860-1610  
FAX 095-850-7767
- ② 郵送による交付  
封書に「【調達件名を記載】入札説明書希望」と記入し、返信用封筒（角2）に250円切手を貼付し、上記①あて郵送のこと。
- ③ メールによる交付  
任意書式に「【調達件名を記載】入札説明書メールにて希望」と記入し、社名、担当者名、メールアドレス、電話番号を記載のうえ、上記①あてFAX送信すること。

4. 入札説明会の日時及び場所等  
 仕様に等しい質疑がある場合には、平成30年8月6日（土）に、入札説明会（アドレッシング）を開催し、質疑応答を行います。質疑がある場合は、入札説明会（アドレッシング）を開催し、質疑応答を行います。質疑がある場合は、入札説明会（アドレッシング）を開催し、質疑応答を行います。

5. 証明に関する事項  
 競争参加者は、上記2.(5)及び(6)を証明する証明書を提出しなければならない。  
 (1) 証明書等  
 (2) 提出場所  
 (3) 提出期限  
 平成30年8月13日 17時00分

6. 入札の日時及び場所等  
 (1) 入札の日時及び場所  
 平成30年8月24日 14時00分  
 長崎県長崎市多良町1551-8  
 国立研究開発法人水産研究・教育機構  
 西海区水産研究所 小会議室  
 (2) 郵便による入札書の受領期限及び提出場所  
 平成30年8月24日 10時00分  
 3. ①に同じ。

7. その他  
 (1) 契約手続きにおいて使用する言語及び通貨  
 日本語及び日本国通貨。  
 (2) 入札保証金及び契約保証金  
 免除。  
 (3) 入札の無効  
 本公告に示した競争参加資格のない者の提出した入札書及び入札に関する条件に違反した入札書は無効とする。  
 (4) 契約書作成の要否  
 要。  
 (5) 落札者の決定方法  
 予定価格の制限の範囲内で最低価格をもって有効な入札を行った入札者を落札者とする。  
 (6) 競争参加者は、入札の際に国立研究開発法人水産研究・教育機構の資格審査結果通知書写し又は全省庁統一資格の資格審査結果通知書写しを提出すること。  
 (7) 詳細は入札説明書による。

8. 契約に係る情報の公表  
 (1) 公表の対象となる契約先  
 ① 当該契約先（役員経験者）が再就職していること又は課長相当職以上の職を経験した者（課長相当職以上経験者）が役員、顧問等※注1として再就職していること  
 ② 当該契約先との間の取引高が、総売上高又は事業収入の3分の1以上を占めていること※注2  
 なお、「当機構」とは、改称前の独立行政法人水産総合研究センター及び国立研究開発法人水産総合研究センター、統一統合前の独立行政法人水産大学校を含みます。名称を有する者であるかを問わず、経営や業務運営について、助言すること等により影響力を与えたと認められる者を含む。  
 ※注1 「役員、顧問等」には、役員、顧問のほか、相談役その他いかなる名称を有する者であるかを問わず、経営や業務運営について、助言すること等により影響力を与えたと認められる者を含む。  
 ※注2 総売上高又は事業収入の額は、当該契約の締結日における直近の財務諸表に掲げられた額によることとし、取引高は当該財務諸表の対象事業年度における取引の実績による。  
 (2) 公表する情報  
 上記(1)に該当する契約先について、契約ごとに、物品役務等の名称及び数量、契約締結日、契約先の名義、契約金額等と併せ、次に掲げる情報を公表する。  
 ① 当機構の役員経験者及び課長相当職以上経験者（当機構OB）の人数、職名及び当機構における最終職名

- ② 当機構との間の取引高
- ③ 総売上高又は事業収入に占める当機構との間の取引高の割合が、次の区分のいずれかに該当する旨
- 3分の1以上2分の1未満、2分の1以上3分の2未満又は3分の2以上
- ④ 一者応札又は一者応募である場合はその旨

(3) 当機構に提供していただく情報

- ① 契約締結日時時点で在職している当機構OBに係る情報（人数、現在の職名及び当機構における最終職名等）
- ② 直近の事業年度における総売上高又は事業収入及び当機構との間の取引高

(4) 公表日

契約締結日の翌日から起算して原則として72日以内（4月に締結した契約については原則として93日以内）

(5) その他

当機構ホームページ（契約に関する情報）に「国立研究開発法人水産研究・教育機構が行う契約に係る情報の公表について」が掲載されているのでご確認くださいとともに、所要の情報の当機構への提供及び情報の公表に同意の上で、応札若しくは応募又は契約の締結を行っていただくようご理解とご協力をお願いいたします。また、応募又は契約の締結を、応札若しくは応募又は契約の締結を、ご了知願います。

## 9. 公的研究費の不正防止にかかる「誓約書」の提出について

当機構では、国より示された「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）」（平成19年2月15日文部科学大臣決定）に沿って、公的研究費の契約等における不正防止の取り組みを行っており、取り組みのひとつとして、取引先の皆様に「国立研究開発法人水産研究・教育機構との契約等にあたっての注意事項」（URL：[http://www.fra.affrc.go.jp/keiyaku/pledge\\_request/note\\_contract.pdf](http://www.fra.affrc.go.jp/keiyaku/pledge_request/note_contract.pdf)）をご理解いただき、一定金額以上の契約に際して、当該注意事項を遵守する旨の「誓約書」の提出をお願いしています。

公的研究費の不正防止関係書類（①公的研究費の不正防止にかかる「誓約書」の提出について、②国立研究開発法人水産研究・教育機構との契約等にあたっての注意事項、③誓約書）は、入札説明書に添付しますので、契約相手方となった場合は、誓約書の提出をお願いします。なお、当機構の本部、研究所、開発調査センター、水産大学いずれか1箇所に1回提出していただければ、当機構内の次回以降の契約では再提出する必要はありません。

# 業務仕様書

1. 件 名 東シナ海における動物プランクトン標本の同定・計数・選別業務
2. 業務及び目的
  - (1) 大型クラゲ幼生及び餌料動物プランクトン同定・計数業務  
上記業務は、東シナ海において改良型ノルパックネットにより採集された標本を用いて大型クラゲ幼生出現の有無を確認すること及び動物プランクトンを種レベルで同定・計数することを目的とする。
  - (2) 海洋モニタリング調査定線の動物プランクトン同定・計数業務  
上記業務は、東シナ海において改良型ノルパックネットにより採集された標本を用いて動物プランクトンを種レベルで同定・計数すること及び動物プランクトンの主要種を選別することを目的とする。
  - (3) DNA 分析のための動物プランクトン同定・計数・選別業務  
(2)に同じ
3. 標 本 合計128検体(網目幅100  $\mu$  mの改良型ノルパックネットによる水深150m 以浅の鉛直曳網1回で得られた試料を1 検体とする)  
業務(1): 50検体 (ホルマリン固定)  
業務(2): 60検体 (ホルマリン固定)  
業務(3): 18検体 (ホルマリン固定13検体、エタノール固定5検体)  
試料は契約締結後すみやかに送付する。ただし、(1)のうち8検体 (2)のうち13検体 (3)のうちホルマリン固定3検体については10月末の送付とする。
4. 成 果 品 長崎県長崎市多以良町1551-8  
納入場所 国立研究開発法人水産研究・教育機構 西海区水産研究所
5. 履行期限 標本(1)・(2):平成31年3月20日  
標本(3)ホルマリン固定:平成31年1月18日  
標本(3)エタノール固定:標本到着後1ヶ月以内
6. 業務内容 当所から送付する標本について、下記のとおり作業を行うこと。  
標本(1)・(2)・(3)のうちホルマリン固定においては、①～③。  
標本(3)のうちエタノール固定においては、④。
  - ① 分割・湿重量・沈殿量測定  
ホルマリン固定標本については、ゴミと大型プランクトン(クラゲ類・ヒカリボヤ・サルパ・その他大型甲殻類等。体長3～4cm 以上を目安とする。ヤムシ類・オキアミ類は含めない。)を取り除いた標本を1/2分割し、一方については湿重量と沈殿量の測定を、もう一方は検鏡観察に供する。取り除いた大型プランクトンについては可能な限り種を同定し、以下の処理を行い、分析結果表に記載する。
    - クラゲ類: 個体数を計数、傘径と湿重量を測定し、スクリュー管等に保管する。大型クラゲ(*Nemopilema nomurai*)の若齢個体が出現した場合は別途スクリュー管等に保管する。
    - ヒカリボヤ・サルパ: 群体数・個体数を計数、湿重量を測定し、スクリュー管等に保管

する。

- 大型甲殻類等： 個体数を計数、湿重量を測定し、スクリー管等に保管する。

## ② 検鏡

検鏡用に分割した標本について、動物プランクトン分類群の同定と個体数の計数を行う。同定レベルはア)～サ)に示す分類群毎の基準とする。ただし、種同定が容易なものは可能な限り種レベルでの同定結果も示す。試料はカイアシ類(コペポデイト期)を200個体以上計数できる範囲であれば分割しても良い。同定作業は「日本産海洋プランクトン検索図説」を基本に、Web Site “World Register of Marine Species” を参考にしながら、最新の情報を取り入れて行う。根拠とした文献・情報は分析結果表に付記する。分析作業は黒潮域の動物プランクトン(特にカイアシ類)に精通した者が行うこと。

- ア) カイアシ類： 成体については世界中の海産浮遊性カイアシ類に関する Web Site “Marine Planktonic Copepod” を参照し、これにリストアップされている種は全て同定し個体数を計数する(参考として別紙:カイアシ類出現種リスト(東シナ海)を添付する)。計数の際には成体雌・成体雄を分けて記録する。*Calanus* 属については未成体のコペポデイト期も種同定を行い、各ステージの個体数を計数する。その他のコペポデイト期については属レベルまでの同定を基準とするが、可能な限り種レベルで同定を行い各ステージの個体数を計数する。
- イ) クラゲ類(刺胞動物・有櫛動物)： 綱レベルの同定・計数を行う。大型クラゲ(*Nemopilema nomurai*)のエフィラ幼生が出現した場合は傘径を測定し、別途スクリー管等に保存する。
- ウ) 腹足類： 科レベルの同定・計数を行う。
- エ) 多毛類： 綱レベル(Polychaeta)の同定・計数を行う。
- オ) 枝角類： 種レベルの同定・計数を行う。
- カ) 介形類： 綱レベル(Ostracoda)の同定・計数を行う。
- キ) 軟甲類： 以下の基準とする。
- オキアミ類： 成体・未成体は種レベルの同定・計数を行う。幼生はノープリウス、メタノープリウス、カリプトピス、フルシリアの各発育ステージに分けて計数する(幼生について分類情報のある種は、可能な場合、種レベルで同定・計数する)。詳細については作業開始前に担当職員と協議すること。
  - 十脚類： 科レベルの同定・計数を行う。
  - 端脚類： 亜目レベル(Hyperiidea, Gammaridea)の同定・計数を行う。
  - その他： 可能な限り種レベルで、目レベルまでの同定・計数を行う。
- ク) ヤムシ類： 種レベルの同定・計数を行う。
- ケ) タリア類： 以下の基準とする。
- ヒカリボヤ： 群体について種レベルの同定・計数を行う。
  - サルパ： 単独個体と連鎖個体を分け、種レベルの同定・計数を行う。
  - ウミタル： 属レベル以上の同定・計数を行う。ナース世代は纏めて良い。
- コ) 尾虫類： 種レベルの同定・計数を行う。サンプルの保存状態が悪い場合は可能な限り科レベルで同定する。
- サ) 一時性プランクトン(魚卵・稚仔魚含む)： フジツボ幼生(キプリス・ノープリウス)及びカタクチイワシ卵は確実に同定する。その他は作業者が知識を持つ範囲で可能な限り計数・同定する。

③ 体長測定

同定・計数した動物プランクトンについて、体長・体幅など重量換算に必要な指標部位の測定を行う。測定値からの重量(湿重量、乾燥重量、炭素重量)換算式も示すこと。測定部位については、「沿岸環境調査マニュアル(日本海洋学会編、恒星社厚生閣)」「地球環境調査計測事典 第3巻 沿岸域編(竹内均監修)」などを参照し、決定する。詳細については作業開始前に担当職員と協議すること。

④ 主要種の選別

本業務の種同定及び過去データに基づいて甲殻類の優占20種を選別し、種毎にエタノール保存を行う。選別する個体は各種で5個体とし、原則として成体の雌を対象とする。但し、サンプル中に成体が出現しない種や雌の記載がない種についてはコペポデイドV期の個体や雄を対象とする。選別したすべての検体について、体長・頭胸部長・体幅の計測を行う。選別した検体はエタノール(濃度:99.5%)を満たしたクライオバイアルに入れて保存する。1標本からの選別で20種に達しなかった場合は、20種を満たすまで順次新しい標本から選別を行う。標本は冷凍宅配便により輸送するものとし、作業は標本受領後速やかに行い、選別した検体20種は下記8. 標本返却記載の中央水産研究所に速やかに送付する。作業期間中の保存は冷凍庫(-15℃以下)で行うものとする。

7. 成果品提出

以下の情報を Microsoft Excel シートか、カンマ区切りテキストファイルに纏め、分析結果表として担当職員宛に電子メールで提出する。Microsoft Excel シートの場合は全試料のデータ(ア)～オ) 毎に1シートに纏めること。

ア) 実計数値・分割率

イ) 曳網当たり個体数(個体数/標本)。

曳網当たり個体数については、大型プランクトンの個体数も合計し、「JODC 海洋生物コード(プランクトン)2001年版」のコードを付記する。カイアシ類については科名も付記する。

ウ) 指標部位計測値

エ) 湿重量・沈殿量値

オ) 大型プランクトンに関する情報(クラゲ類傘径・湿重量など)

カ) 分析担当者名(電子メールに直接記載しても良い)

8. 標本返却: 標本(1)・(2)・(3)

長崎県長崎市多以良町1551-8

国立研究開発法人水産研究・教育機構 西海区水産研究所

標本(3)のうち業務内容6. ④甲殻類の優占20種を選別した検体

神奈川県横浜市金沢区福浦2-12-4

国立研究開発法人水産研究・教育機構 中央水産研究所

ホルマリン固定標本については、分析後の試料を5%中性ホルマリン海水で保存し、以下のア)～エ)の要領で返却すること。エタノール固定標本については、選別後の残りの標本を、送付時の容器のまま冷凍宅配便で返却すること。返却時の送料・容器は請負業者負担とする。

ア) 湿重量測定サンプル: 内蓋付の50ml ガラス製サンプル瓶(UM サンプル瓶同等品)に入れる。サンプル容量が多い時は複数瓶に分けて良い。蓋に「航海名」「測点名」「採集年月日」「採集層」と、「1/2 - B」の文字を記入する(耐水性のシールを貼付しても良い)。

- イ) 検鏡サンプル： 10ml スクリュー管に入れる。蓋に試料全体に対する分割率と、「A」の文字を記入する(耐水性のシールを貼付しても良い)。
- ウ) 分割後の未検鏡サンプル： 内蓋付の50ml ガラス製サンプル瓶(UM サンプル瓶同等品)に入れる。サンプル容量が多い時は複数瓶に分けて良い。蓋に「航海名」「測点名」「採集年月日」「採集層」と、試料全体に対する分割率、「A」の文字を記入する(耐水性のシールを貼付しても良い)。
- エ) 大型プランクトンサンプル： 適当なサイズのスクリー管に入れる。蓋に「航海名」「測点名」「採集層」「内容物名(「クラゲ」「サルパ」「ヒカリボヤ」など)」を記入する(耐水性のシールを貼付しても良い)。

## 9. その他

- ① 請負業者は標本受領後、速やかに標本と標本一覧表を照合し、標本の状態等について確認を行い、担当職員へ受領した旨を連絡する。標本と標本一覧表との不一致や輸送中の事故があった場合は、取扱いについて担当職員と協議する。なお、引き渡しにかかる送料等は当所負担とする。
- ② 業務に必要な消耗品等は請負業者にて準備すること。
- ③ 成果品の提出の際は必ずファイルのウィルスチェックを行うこと。
- ④ 成果品について当所におけるチェック結果によっては該当の全サンプルの再検を求められることがある。また仕様書に反する成果品が提出された場合や当所でのクロスチェック結果と大きく異なる場合においても全サンプルの再検を求められることがある。
- ⑤ 詳細については担当職員の指示に従うこと。特に作業中に疑義が生じた場合は、必ず担当職員と打ち合わせを行い、合意を得たうえで作業を進めること。
- ⑥ 本業務で知り得た情報について、取扱責任者を置き、社内で適切に管理を行うこと。
- ⑦ 業務で知り得た情報について、第三者への開示をしないこと。

## 別紙 カイアシ類出現種リスト(東シナ海)

Order	Species	Order	Species	
CALANOIDA	<i>Acartia negligens</i>	CYCLOPOIDA	<i>Paroithona pulla</i>	
	<i>Acartia danae</i>		<i>Oithona atlantica</i>	
	<i>Acartia omorii</i>		<i>Oithona attenuata</i>	
	<i>Acartia pacifica</i>		<i>Oithona brevicornis</i>	
	<i>Aetideus acutus</i>		<i>Oithona davisae</i>	
	<i>Haloptilus longicornis</i>		<i>Oithona decipiens</i>	
	<i>Calanus sinicus</i>		<i>Oithona fallax</i>	
	<i>Canthocalanus pauper</i>		<i>Oithona fragilis</i>	
	<i>Cosmocalanus darwini</i>		<i>Oithona longispina</i>	
	<i>Mesocalanus tenuicornis</i>		<i>Oithona nana</i>	
	<i>Mesocalanus lighti</i>		<i>Oithona plumifera</i>	
	<i>Nannocalanus minor</i>		<i>Oithona rigida</i>	
	<i>Neocalanus gracilis</i>		<i>Oithona setigera</i>	
	<i>Undinula vulgaris</i>		<i>Oithona similis</i>	
	<i>Calocalanus pavo</i>		<i>Oithona simplex</i>	
	<i>Calocalanus plumulosus</i>		<i>Oithona tenuis</i>	
	<i>Calocalanus styliremis</i>		<i>Oithona vivida</i>	
	<i>Paracandacia truncata</i>		MORMONILLOIDA	<i>Mormonilla minor</i>
	<i>Paracandacia bispinosa</i>		HARPACTIDOIDA	<i>Clytemnestra rostrata</i>
	<i>Candacia bipinnata</i>			<i>Clytemnestra scutellata</i>
	<i>Candacia pachydactyla</i>			<i>Microsetella norvegica</i>
	<i>Candacia simplex</i>			<i>Microsetella rosea</i>
	<i>Candacia discaudata</i>			<i>Macrosetella gracilis</i>
	<i>Centropages furcatus</i>			<i>Euterpinia acutifrons</i>
	<i>Centropages gracilis</i>		POECILOSTOMATOIDA	<i>Corycaeus affinis</i>
	<i>Clausocalanus arcuicornis</i>			<i>Corycaeus agilis</i>
	<i>Clausocalanus farrani</i>			<i>Corycaeus andrewsi</i>
	<i>Clausocalanus furcatus</i>			<i>Corycaeus asiaticus</i>
	<i>Clausocalanus mastigophorus</i>			<i>Corycaeus catus</i>
	<i>Clausocalanus minor</i>			<i>Corycaeus crassiusculus</i>
<i>Clausocalanus parapergens</i>	<i>Corycaeus erythraeus</i>			
<i>Clausocalanus paululus</i>	<i>Corycaeus furcifer</i>			
<i>Clausocalanus pergens</i>	<i>Corycaeus giesbrechti</i>			
<i>Ctenocalanus vanus</i>	<i>Corycaeus limbatus</i>			
<i>Rhincalanus cornatus</i>	<i>Corycaeus lautus</i>			
<i>Rhincalanus nasutus</i>	<i>Corycaeus longistylis</i>			
<i>Eucalanus pileatus</i>	<i>Corycaeus pacificus</i>			
<i>Eucalanus subtenuis</i>	<i>Corycaeus speciosus</i>			
<i>Euchaeta rimana</i>	<i>Corycaeus subtilis</i>			
<i>Euchaeta indica</i>	<i>Corycaeus typicus</i>			
<i>Paraeuchaeta concinna</i>	<i>Farranula carinata</i>			
<i>Paraeuchaeta longicornis</i>	<i>Farranula concinna</i>			
<i>Paraeuchaeta plana</i>	<i>Farranula gibbula</i>			
<i>Paraeuchaeta russelli</i>	<i>Farranula rostrata</i>			
<i>Heterorhabdus papilliger</i>	<i>Lubbockia squillimana</i>			
<i>Lucicutia flavicornis</i>	<i>Oncaea clevei</i>			
<i>Mecynocera clausi</i>	<i>Oncaea media</i>			
<i>Pleuromamma abdominalis</i>	<i>Oncaea mediterranea</i>			
<i>Pleuromamma gracilis</i>	<i>Oncaea scottodiarloi</i>			
<i>Pleuromamma indica</i>	<i>Oncaea venusta f. typica</i>			
<i>Pleuromamma xiphias</i>	<i>Oncaea venusta</i>			
<i>Acrocalanus gibber</i>	<i>Oncaea venusta f. venella</i>			
<i>Acrocalanus gracilis</i>	<i>Oncaea waldemari</i>			
<i>Acrocalanus longicornis</i>	<i>Triconia conifera</i>			
<i>Delius nudus</i>	<i>Triconia dentipes</i>			
<i>Paracalanus aculeatus</i>	<i>Triconia elongata</i>			
<i>Paracalanus crassirostris</i>	<i>Triconia furcula</i>			
<i>Paracalanus denudatus</i>	<i>Triconia giesbrechti</i>			
<i>Paracalanus elegans</i>	<i>Triconia hawaii</i>			
<i>Paracalanus nanus</i>	<i>Triconia minuta</i>			
<i>Paracalanus parvus s.l.</i>	<i>Triconia umerus</i>			
<i>Calanopia elliptica</i>	<i>Oncaea zernovi</i>			
<i>Calanopia minor</i>	<i>Oncaea bathyalis</i>			
<i>Scolecithricella longispinosa</i>	<i>Oncaea ovalis</i>			
<i>Scolecithricella vittata</i>	<i>Oncaea tregoubovi</i>			
<i>Scolecithrix bradyi</i>	<i>Sapphirina darwini</i>			
<i>Scolecithrix danae</i>	<i>Sapphirina nigromaculata</i>			
<i>Scolecithrix nicobarica</i>	<i>Copilia quadrata</i>			
<i>Temoropia mayumbaensis</i>	<i>Copilia mirabilis</i>			
<i>Temora discaudata</i>	<i>Hemicyclops japonicus</i>			
<i>Temora turbinata</i>	<i>Ratania flava</i>			